

寄附金の使い道と 寄附金活用事業のご報告

コウノトリ豊岡寄付金 用途別集計

お寄せいただいた寄附金は、寄附申出時の希望に沿いながら、さまざまな事業の財源として充当し、活用させていただきました。

2019年度

寄附件数 **10,793**件
寄附金総額 **687,214,278**円

①	「小さな世界都市」の実現を目指すまちづくり (地方創生事業等の市が重点を置く施策)	178,015,000円
②	深さを持った「演劇のまち」づくり (豊岡演劇祭の開催、(仮称)国際観光芸術専門職大学の設置、アーティストの移住促進等)	87,604,000円
③	コウノトリをシンボルとした人と自然が共生するまちづくり (豊かな自然の保存・再生・創造等)	113,242,778円
④	安全に安心して暮らせるまちづくり (防災力の向上、福祉・医療の充実等)	63,147,000円
⑤	持続可能な「力」を高めるまちづくり (産業・観光の振興、情報発信戦略の推進、公共交通の充実等)	33,756,500円
⑥	未来を拓く人を育むまちづくり (子育て・教育環境の充実等)	149,647,000円
⑦	人生を楽しみお互いを支え合うまちづくり (芸術・文化・スポーツの振興、地域コミュニティ活動の支援等)	24,021,000円
⑧	上記以外のまちづくり施策	35,718,000円
特別目的	豊岡市の新たな挑戦!演劇ワークショップで子どもたちの「非認知能力」を育てる ~劇作家平田オリザ氏監修~	2,063,000円



[活用例]

コウノトリ野生復帰推進事業

コウノトリの生息地となる水田ビオトープや湿地等を点在させることにより、水辺の生きものの生息場所を広げて餌場を増やすなど、コウノトリが住みやすい環境を作ります。



豊岡国際演劇祭協同開催事業

街の隅々に演劇があるような「深さをもった演劇のまち」の実現に向けて「豊岡演劇祭」を開催します。5年後には、アジア最大の演劇祭を目指します。



第0回豊岡演劇祭
青年団「東京ノート-インターナショナルバージョン」
撮影:igaki photo studio

特産振興事業

豊岡は、柳かご・柳行李をルーツに発展した、国内最大のかぼんの生産地です。地域団体商標登録「豊岡鞆」のPRを支援しています。



豊岡の未来を創る高校生支援事業

ローカル&グローバル教育に取り組む高等学校の生徒を対象に、語学研修への参加費用を補助するなど、ふるさと豊岡で活躍する国際社会に対応できる人材を育成しています。



こどもの野生復帰事業

「コウノトリだけでなく、子どもたちを自然に帰そう!」
豊岡市では「子どもの野生復帰大作戦」と銘打って自然体験活動を進めています。



英語遊び保育推進事業

豊岡市内の幼稚園・保育園・認定こども園の4、5歳を対象に英語遊び指導員が巡回し、英語遊び保育を実施しています。(年間1園15回程度、市全体で約450回)
歌、手遊び、ゲームや絵本の読み聞かせなど、オールイングリッシュでのやりとりの中で、英語に親しみ、楽しもうとする気持ちを育む取組です。

